

白鶴美術館 2025 年秋季展開催

2025年9月23日(祝・火)から12月7日(日)まで

公益財団法人白鶴美術館(神戸市、1934年開館)では9月23日(祝・火)から秋季展を開催します。

新館は1995年10月に、当館四代理事長嘉納秀郎(1934-2010:白鶴酒造10代)寄贈の絨毯コレクションを主な所蔵品とする展示施設として開館いたしました。同1月におきた阪神淡路大震災の影響を受け、予定より7か月遅れての初公開でしたが、当館復興を記念する展示ともなりました。

今秋は新館開館30周年として、当初より所蔵する中東絨毯の優品を中心に、この30年間に寄贈されたホータン(中国)やムガル(インド)の絨毯も一部初公開致します。

本館は、所蔵の中国陶磁展となっております。繁栄を意味する荷葉(蓮)や柘榴、富貴を表す牡丹、長寿の象徴たる松、吉祥の徴(しるし)である鳳凰や麒麟など、寿(ことほ)ぎに満ちた文様世界をご鑑賞ください。

開催概要

展覧会名:別館タイトル:「新館開館30周年記念 中東美術の華 一絨毯」

本館タイトル:「吉祥の美 一中国陶磁」

■期間 2025年9月23日(祝・火)～12月7日(日)

■休館日 毎週月曜日 但し、10月13日(祝・月)、11月3日(祝・月)・24日(振替・月)は開館、
10月14日(火)、11月4日(火)・25日(火)を休館

■開館時間 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

■入館料 大人:800円 大学・高校生:500円 中・小学生:250円
(65歳以上は500円、上記各団体20名以上は2割引)

主な展示品

新館(絨毯)

(画像左より)

- ・アクスタファ コーカサス 19世紀中期
- ・モフタシャム カーシャーン
ペルシア中央部 20世紀初期
- ・ベルガマ アナトリア西部 20世紀中期



本館(中国陶磁器)

(画像左より)

- ・唐三彩荷葉飛雁文盤 唐時代
- ・金欄手寿字文大鉢 明時代
- ・金欄手瓢形瓶 明時代



【白鶴美術館とは】

「世界的価値のあるコレクションを私蔵するのではなく、ひとりでも多くの方の目に触れてほしい。」

白鶴美術館は、そんな願いを持った嘉納治兵衛（鶴翁・白鶴酒造7代）によって昭和9年（1934年）に開館されました。古美術品500点で出発した当館は現在、国宝2件（75点）、重要文化財22件（39点）を含む約1450点以上の作品を所蔵。戦争と空襲、大震災など幾多の苦難を乗り越えて、価値ある古美術品を現在に残しています。



1934年開館の美術館本館

展覧会に伴うイベント情報

絨毯文化を知る①〈特別ワークショップ〉 (定員：40名)

日時：10月12日(日) 午後1時～3時30分

テーマ：「パンチニードルで絨毯文様を描こう」

講師：奈良教育大学非常勤講師・繊維造形作家 新田恭子 氏

絨毯文化を知る②〈講演会 —アナトリア編〉 (定員：40名)

日時：11月3日(月・祝) 午後2時～3時30分

テーマ：「トルコ絨緞：トルコの文化史、美術史の視点から」

講師：龍谷大学名誉教授 ヤマンラール・水野美奈子 氏

絨毯文化を知る③〈ワークショップ〉 (定員：15名 (席数5))

日時：11月9・16・23・30日の各日曜日 午後1時30～3時30分

テーマ：「大学生指導員によるウール・ワークショップ」

指導員：甲南大学学生

絨毯文化を知る④〈講演会 —ペルシア編〉 (定員：40名)

日時：11月24日(振替・月) 午後2時～3時30分

テーマ：「ペルシア絨毯とは？ —19世紀後半から20世紀初頭の変化を中心に—」

講師：せとうち観光専門職短期大学教授 吉田雄介 氏

絨毯文化を知る⑤〈アート・トーク〉(特別文化財講座) (定員：10名(聴講のみ30名))

日時：12月7日(日) 午後1時～2時

テーマ：「絨毯を受け継ぐ —絨毯展示、保管・修整の考え方と方法」

講師：メトロポリタン美術館終身名誉館員 梶谷宣子 氏

〈スライド解説〉 (定員：40名)

日時：9月27日、10月25日・11月29日の各土曜日 午後1時～2時

テーマ：「展示の見どころ」

講師：当館学芸員

アクセス

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

- ・阪急御影駅から北東約1km (徒歩約15分)
- ・無料駐車場あり (大型バスも可)
- ・阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統渦森台行「白鶴美術館前」

▼展覧会詳細 (HPをご覧ください)

<https://www.hakutsuru-museum.org>



本件に関するお問い合わせ：学芸課 海原 吉本

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 Tel/Fax: 078-851-6001

白鶴美術館 新館開館 30周年記念

中東美術の華

絨毯

じゅう
う

たん

新収蔵絨毯

初公開!

2025年
9.23(火) → 12.7(日)

休館日 毎週月曜日 但し、10/13(祝・月)、11/3(祝・月)・24(振替・月)は開館、
10/14(火)、11/4(火)・25(火)を休館

開館時間 午前10時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

入館料 大人800円 / 大学・高校生500円 / 中学・小学生250円
(上記各団体20名以上2割引 / 65歳以上500円)

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

《お問い合わせ》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL / FAX 078-851-6001

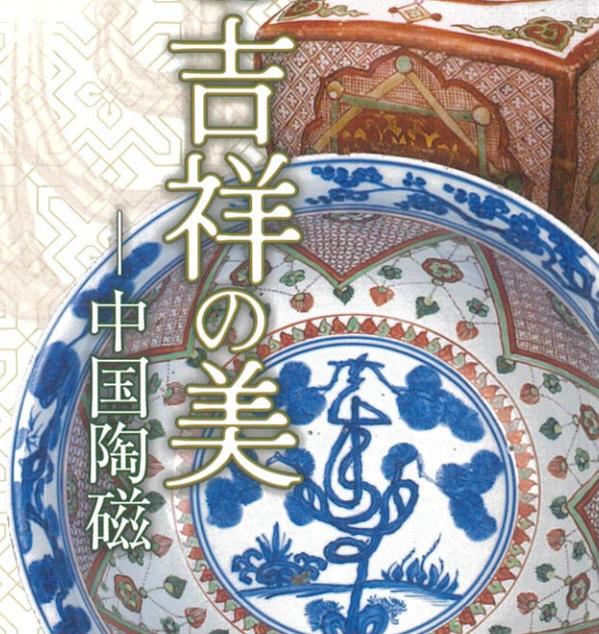
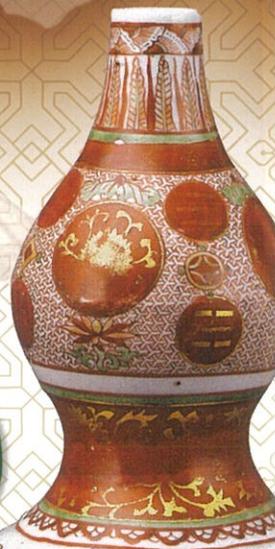


予定の変更や入場制限など、最新の情報は、当館サイトのトップページ、もしくはお電話でご確認のうえご来館ください。



吉祥の美

中国陶磁



中東美術の華

絨毯

じゅうたん



アクスタファ コーカサス
19世紀中期



モフタシヤム カーシャーン
ペルシア中央部
20世紀初期



イスファハーン ペルシア中央部
シュレシ工房
20世紀中期



ベルガマ アナトリア西部
20世紀中期



唐三彩荷葉飛雁文盤
中国 唐時代



金襴手寿文大鉢
中国 明時代



金襴手瓢形瓶
中国 明時代



本館
吉祥の美
中国陶磁

新館は、当館60周年記念事業において、第4代理事長嘉納秀郎（白鶴酒造第10代）コレクションのペルシア・アナトリア・コーカサス絨毯を主な所蔵品とする展示施設として設立されました。

開館は1995年10月。同年1月におきた阪神淡路大震災の影響を受け、当初の予定より7か月遅れての初公開でしたが、当館復興を記念する展示ともなりました。

今秋は新館開館30周年として、当初より所蔵する中東絨毯の優品を中心に、この30年間に寄贈されたホータン（中国）やムガル（インド）の絨毯も一部初公開致します。

本館は、所蔵の中国陶磁展となっております。繁栄を意味する荷葉（蓮）や柘榴、富貴を表す牡丹、長寿の象徴たる松、吉祥の徴（しるし）である鳳凰や麒麟など、華やかで寿（ことほ）ぎに満ちた文様世界をご鑑賞ください。

イベント情報

絨毯文化を知る① -特別ワークショップ- 定員:40名
 テーマ:「パンチニードルで絨毯文様を描こう」
 日 時:10月12日(日) 午後1時~3時30分
 講 師:奈良教育大学非常勤講師・繊維造形作家 新田恭子氏

絨毯文化を知る② -講演会《アナトリア編》- 定員:40名
 テーマ:「トルコ絨緞:トルコの文化史、美術史の視点から」
 日 時:11月3日(月・祝) 午後2時~3時30分
 講 師:元龍谷大学・国際トルコ美術史学会常任理事 ヤマンラール・水野美奈子氏

絨毯文化を知る③ -ワークショップ- 定員15名(席数:5席)
 テーマ:「大学生指導員によるウール・ワークショップ」
 日 時:11月9・16・23・30日、各日曜日 午後1時30~3時30分
 指導員:甲南大学学生

絨毯文化を知る④ -講演会《ペルシア編》- 定員:40名
 テーマ:「ペルシア絨毯とは? ~19世紀後半から20世紀初頭の変化を中心に~」
 日 時:11月24日(振替・月) 午後2時~3時30分
 講 師:せとうち観光専門職短期大学教授 吉田雄介氏

絨毯文化を知る⑤ -アート・トーク(特別文化財講座)- 定員:10名
 テーマ:「絨毯を受け継ぐ ~絨毯展示、保管・修整の考え方と方法~」
 日 時:12月7日(日) 午後1時~2時
 講 師:メトロポリタン美術館終身名誉館員 梶谷宣子氏
 *30名までご聴講いただけます

スライド解説 定員:40名
 テーマ:「展示の見どころ」
 日 時:9月27日、10月25日、11月29日の各土曜日 午後1時~2時
 講 師:当館学芸員

●予定の変更や入場制限など、最新の情報は当館公式サイト及びお電話でご確認ください。 ●イベント参加には入館が必要です。 ●イベント参加予約は行っておりません。ご参加は先着順(定員数まで)となります。

インフォメーション



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森台行き「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から北東約1km(徒歩15分)

お車でのお越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
- 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km
- ※無料駐車場あり(大型バスも可)

次回春季展は
2026年3月3日(火)から開催予定です

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

《お問い合わせ先》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX:078-851-6001